

令和5年度 市長記者会見 発言要旨

令和5年6月19日(月)開催分 **第1部**

< 開催時間 > 14:00~

< 会場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > 6月補正予算案の概要
その他 福井市総合防災訓練
ふくみちプロジェクト 新しくなる中央大通りで実施
北陸新幹線福井開業 200 日前イベント

< 会見資料 >

< 出席者 > 市長、副市長、財政部長、総務部次長、財政課長、都市整備課長、地域交通課長、介護保険課長、地域包括ケア推進課長、商工振興課長、おもてなし観光推進課長、農政企画課長、保健給食課長、救急救助課長

< 発表内容 >

【福井市長】

本日は、6月定例会に提出を予定しております補正予算案の概要についてご説明させていただきます
今回の補正予算案は、物価高騰の影響を受けた事業者や生活者に対する支援をはじめ、北陸新幹線福井開業に向けた取組やその他各種施策を推進するために予算措置が必要となった事業について計上するものです。
補正予算案の規模は、「6月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、
一般会計で、 12億7,426万8千円、
中央卸売市場特別会計で、 2,226万5千円
追加いたします。

この結果、補正後の予算総額は、
一般会計で、 1,320億8,926万8千円
特別会計で、 766億1,326万5千円
全会計では、 2,404億8,953万3千円
となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、財政部長から説明いたします。

【財政部長】

それでは、お手元の資料「6月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。
まず、1ページにつきましては、ただいま市長が申し上げました、会計別の総括表でございます。
2ページをお開きください。

これは、一般会計の財源について表したものでございます。

分担金及び負担金で	95万2千円
国庫支出金で	9億1,622万2千円
県支出金で	2億1,103万4千円
繰入金で	450万円
繰越金で	8,316万円
市債で	5,840万円

をそれぞれ追加いたします。

3ページをご覧ください。

これは、一般会計の歳出を款別に表しております。

総務費で	3,568万2千円
民生費で	3億5,026万5千円
衛生費で	3億7,764万5千円
農林水産業費で	4,510万4千円
商工費で	1億8,575万1千円
土木費で	2億 744万3千円
教育費で	4,407万4千円
災害復旧費で	2,830万4千円

をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。

今回計上しました事業の一覧でございます。

6ページをお開きください。

第一に、「原油価格・物価高騰への対応に関する事業」としまして、1番 地域鉄道電気料高騰対策支援事業 865万2千円、および2番 バス事業者特別支援事業 349万8千円につきましては、電気料金等の高騰により経営に大きな影響が生じている地域鉄道事業者とバス事業者に対し、県および沿線市町と協調し、電気料金等の高騰分を支援します。

新規3番 まちなかにぎわい創出事業 500万円です。ハピリンでの集客イベントの開催を支援し、まちなか全体のにぎわい創出につなげます。

拡充4番 低所得世帯電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金事業 7,150万円です。低所得世帯電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金について、対象世帯を追加するため、事業費を増額します。

5番 障がい福祉サービス事業所への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業 3,481万5千円、6番 介護サービス事業所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業、1億814万3千円、7番 私立保育所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業 1,304万7千円。8ページをお開きください。8番 私立保育所等給食材料費高騰対策事業 4,217万4千円につきましては、電気料金や食料価格高騰の影響を受けている障がい福祉サービス事業所、介護サービス事業所および私立保育所等の負担軽減を図るため、支援金を支給します。

新規9番 ものづくり企業エネルギーコスト対策事業 9,571万1千円です。市内製造業者の中長期的なコストの低減、経営基盤の強化を図るため、省エネや高効率化につながる設備等の導入を支援します。

拡充10番 商店街装飾灯電気料高騰対策事業 784万3千円です。商店街団体が維持管理する装飾灯に係る電気料金や省エネ設備導入を支援します。

新規11番 畜産経営緊急支援事業 736万7千円、新規12番 水産業電気料高騰対策緊急支援事業 274万6千円、および新規13番 農業水利施設電気料高騰対策緊急支援事業 500万円につきましては、配合飼料価格や電気料金高騰の影響を受けている畜産農家、漁業協同組合および土地改良区に対して支援します。

14番学校給食材料費高騰対策事業 4,407万4千円です。食料価格が高騰する中においても、給食費の値上げをすることなく、栄養バランスや量を保った学校給食を提供するため、給食材料費を増額します。

新規15番 市場内事業者電気料高騰対策緊急支援事業 2,226万5千円です。市場内事業者に対し、電気料金を支援することにより、価格転嫁による生鮮食料品等の高騰を抑え、安定供給を図ります。

10ページをお開きください。第二に「新型コロナウイルス感染症対応に関する事業」です。16番 新型コロナウイルスワクチン接種事業3億7,764万5千円です。国の新型コロナウイルスワクチン接種方針を受け、接種体制を確保し、希望者に対してワクチン接種を実施するため、事業費を増額します。

第三に「新幹線開業に向けた事業」です。

新規17番 足羽川周辺エリアのにぎわい創出支援事業 1億1,550万6千円です。県都グランドデザインに基づき、まちなかで自然に親しめる足羽川の河川空間を活用したアクティビティの拠点整備や、にぎわい創出イベント開催等を支援します。

マース

拡充18番 ふくいMaaS構築事業 3,900万円、および拡充19番 EVすまいるバス×イケボイス化支援事業275

マース

万円につきましては、公共交通やタクシー、自転車など2次交通の利便性向上を目的とした、ふくいMaaSシステムの導入と、すまいるバス北ルートで導入した人気声優による車内放送を全4ルートに拡充する取組を支援します。

12ページをお開きください。20番 恐竜ホテル改修支援事業 533万3千円、および新規21番 多様な宿泊施設整備支援事業 7,686万4千円

につきましては、市内の宿泊施設が行う魅力的な宿泊施設への改修に対し支援を行い、市内宿泊の促進を図ります。

第四に「各種施策を推進するための取組」です。

新規22番 ホームページリニューアル事業 2,041万5千円、および新規23番 庁内会議DX事業 661万2千円につきましては、利用しやすいホームページへのリニューアルとペーパーレス会議の推進により、暮らしや行政のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。

24番 県営街路事業負担金 3,303万7千円、25番 マイナンバーカード交付事業 865万5千円、14ページをお開きください。26番 生活保護システム改修事業 320万円、27番 私立教育・保育施設等整備補助事業 7,209万6千円、および28番 医療的ケア児保育支援事業 529万円につきましては、国・県の事業や制度改正に合わせて実施するものです。

29番 水産物ブランド化推進事業 322万6千円です。福井市を中心とした県内の流通体制の改善と市産水産物の消費拡大を図るため、生産・加工・流通の水産関係団体等が連携した取組を支援します。

30番 森林経営管理事業 450万円、および31番 林道施設災害復旧事業 2,830万4千円につきましては、令和5年1月30日から31日までの融雪および降雨により被災した、林道の倒木の除去および復旧をします。

第五に「債務負担行為の設定」です。

新規 32番 学校給食管理システム整備事業 1,300万5千円です。新学校給食センターに導入する給食管理システムの運用に係る費用について、債務負担行為を設定します。

以上、令和5年度6月補正予算案の概要につきまして説明させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

< 質疑応答 >

【広報課長】

それではただ今説明がありました6月補正予算案の案件につきまして質疑応答を行います。

【福井新聞】

物価高騰対応事業がいくつか挙げられていますが、コロナの影響がまだ見通せない中で、事業者や市民生活への影響について、福井市内の経済活動をどのように捉えていますか。

【福井市長】

まだ、最終形がどのような形になるか安心して見渡せるような状況にまではなっていないと思っています。

電気代や物価の高騰など、なかなか落ち着かず、非常に生活がしにくい状況下だということは理解していますので、少しでも安定した形にもっていきたいということで、国の財源を活用しながらまとめたのが今回の案です。

【福井新聞】

北陸新幹線福井開業を控えています、経済の停滞もあると、事業者ともども機運を作るというのが難しく、決して追い風ではない状況だと思うのですが、その影響についてはどう考えていますか。

【福井市長】

おっしゃるように追い風ではないですが、いつの時代もこのようなことはあることなので、市の単独予算であってもできるだけ積み上げられるところがあれば積み上げ、少しでも前へ進められる形をつくっていきたいと思っています。

【福井テレビ】

補正予算の概要 11 ページの 17 番、足羽川周辺のにぎわいについて、「県都グランドデザイン」で重要なエリアに位置づけたことから、今回事業を進めていくと思うのですが、市としてどのような空間になって欲しいか、新幹線開業に向けての期待感を教えていただきたいです。

【福井市長】

福井のまちの中心部で大きく活用ができる場所は、足羽川の河川敷等が中心になってます。足羽川ダムが完成しないと、河川敷を十分に活用することは難しいと思い、待っていた部分がありました。金額の面、工期の面でまだ課題が残されているものの、ある程度の方向性が見えてきたので、今でき得ることを進められないかいろいろと検討した結果、計画を少し具体的にしたということです。

【広報課長】

他にご質問がないようですので、その他の案件について進めたいと思います。それでは市長、引き続きお願いいたします。

【福井市長】

続きまして、その他として3点ご報告します。

まず、本年度の福井市総合防災訓練についてです。6月25日(日)午前8時、福井県嶺北北部沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生し、福井市で最大震度7を観測したとの想定で、市内一斉に防災訓練を実施します。この訓練は、地震災害や土砂災害などが多発している現状を踏まえ、近隣住民による共助活動を取り入れた避難訓練や、防災ハンドブックや各種ハザードマップを確認いただき、地域の実情に応じた訓練を行うなど、災害時に市民自らが考え、行動する実践的な内容になっています。

なお、本年度の推進会場は、宝永地区、清水南地区、酒生地区、棗地区の4地区となります。住民避難訓練、要配慮者搬送訓練、震災対応訓練に加え、宝永、清水南、棗地区では、今回初めてペットの同行避難訓練や、女性にも配慮した避難所訓練などを実施する予定です。まず、ペットの同行避難訓練では、飼い主が避難所で責任を持って対応できるよう、同行避難に関する普及啓発や課題検証を目的に、福井県獣医師会と協力のもと、実施するものです。また、女性にも配慮した避難所訓練では、女性専用の更衣室や授乳室の確保など、女性の目線を反映させる訓練を行います。同時に、福祉避難所の訓練として、協定施設と連携し、要配慮者の直接避難及び移送訓練を実施します。

更に、宝永地区では昨年モデル事業として作成した個別避難計画に基づき、実際に支援者から要支援者へ安否確認を行う訓練を初めて実施します。

次に、ふくみちプロジェクトについてです。ふくみちについては、既に報道機関の皆様へ情報提供したとおり、現在、リニューアルを行っている中央大通りの歩道を利用して、明後日6月21日(水)から30日(金)の10日間、5回目と

ジューン ニーマルニーサン

なる「ふくみち June 2023」を実施します。まちづくり福井や沿線の事業者、本市などで構成する「ふくみち実行委員会」が主催となり、キッチンカーや販売ブースでの食事の提供、パラソルやテーブル、イスなどの設置による憩いの空間づくりのほか、休日には、路上ライブなども行う予定です。今後、中央大通りでは、北陸新幹線福井開業に向けて、既に整備が完了した歩道ブロック舗装や人工芝に加え、ベンチや間接照明などが新たに整備される予定です。また、ふくみちについても、これまでの試行事業の成果等を踏まえながら、来年度からの本格実施を目指してまいります。近隣にお勤めの方や、お休みの日のご家族連れなど、皆さんにとってにぎわいと憩いの場となるよう、本市としても引き続き、「みち」から「まち」を変える取組「ふくみちプロジェクト」を一緒に盛り上げていきたいと思っております。

最後に、「北陸新幹線福井開業200日前イベント」についてです。

開業年度となる今年度は、200日前、150日前、100日前の節目ごとにカウントダウンイベントを実施いたします。開業200日前のイベントでは、「福井フェニックスまつり」など中心市街地で開催するイベントだけでなく、美術館・博物館での企画展、観光地での催しなどとも連携し、これらを同時期に開催することで、開業に向けた機運を一気に高めてまいります。

中でもイベントの目玉となるのは、本市が全国に誇る“福井の歴史”をテーマとしたシンポジウムです。題して、「福いいネ!グランプリ 朝倉義景、柴田勝家、結城秀康、福井の歴史ここが面白いPR合戦」です。8月27日(日曜日)に、ハピリンホールで開催いたします。基調講演と専門家を交えたトークセッションの二部構成で、基調講演には、昨年度、本市の新幹線プロモーションの一環として制作したポスターや動画に出演いただいた、社会学者で日本史に

も造詣が深い古市憲寿(ふるいち のりとし)さんを講師としてお迎えいたします。応募方法等の詳細については、今後、広報ふくい7月10日号や市ホームページ等でお知らせしますので、市民の皆様はふるってご応募ください。

私からは以上です。

【広報課長】

それではただ今説明がありましたその他の案件につきまして質疑応答を行います。

【福井新聞】

総合防災訓練について、隣の石川県で大きい地震が多発しており、今回嶺北北部沖を震源とする地震を想定ということで、万が一に備えての訓練だと思います。市民の皆様に、改めてどのようなことを感じながら、訓練に望んで欲しいか教えてください。

【福井市長】

近年の防災訓練のときによくお話していることは、家族間でどのように連絡をとれるようにするか考えるということです。もしも、こういう事態に陥ったときは、どこで待合をしよう、ここにメモを貼っておくのでしっかりと見て欲しいなど、決めておくことをお願いしています。また、災害が起きたときに、どのような行動をするのか、家族で役割分担しながら、タイムラインを決めていただくことをお願いしたいです。

【福井新聞】

避難の多様性も求められる中で、今回ペットの同行避難、女性に配慮した避難所開設、また、個別避難計画に基づいた直接避難などの訓練をすることは、今後、避難の多様性を市全体に広げていくための試金石となると思います。その観点で、今回の訓練に期待するところを教えてください。

【福井市長】

訓練を何もしていないと、災害が起きたときにどのように動けばいいか、わからないことがあります。訓練を行い、思い出すことが非常に大きな力になると思っているので、何のための訓練なのかをよく理解をしながら、いろいろな訓練に参加していただくことが重要だと思っています。

【広報課長】

他にございませんか。それではご質問ないようですので、これで記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。

【広報課長】

それではただいまから第2部に映らせていただきます。ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【読売新聞】

今年福井地震から間もなく75年が経つので、当時をご存知の方、語れる方はだんだん少なくなっていると思います。過去に大きな地震が起こった市町として、語り継いでいくことの重要性をどのようにお考えでしょうか。

【福井市長】

語り継いでいくことは非常に重要だと思っています。ただ、現在の防災で大切なことは、こんな災害が起きたときにはこのように行動する、といったような、自ら考え、自ら行動に移すことだと思います。福井地震の時と熊本地震のような最近の地震とでは、時代や環境も違いますので、災害が起きた場合に自分たちはどう行動するか、これらを考えていただくことが重要だと思います。

【FBC】

今日改めてB街区の詳細が出ました。昨年11月に工期が遅れることになり、今日、今後のスケジュール等も細かく出ましたが、改めて今の状況をどのように見ているのか教えてください。

【福井市長】

B街区については、なかなか当初のもくろみ通りに動かない中で、変更を重ねながら引き続き進めていくという意思を出していただいたので、よく相談しながら、福井市としても無理のない形で進めていく必要があると考えています。

【FBC】

今後のスケジュールだと、竣工が令和7年11月となり、新幹線福井開業後かなり時間が経っての完成だと思いますが、その点についてはどう思われますか。

【福井市長】

いろいろな積み上げの中で、完成までにそれだけの時間が必要なので、それを無理に早く進めていくことは難しいと思っています。状況を見極めながら、工期の短縮や費用の削減ができないか、工夫や相談が必要だと思っています。

【福井テレビ】

今のお答えは、工期が予定より遅れることは仕方のない中で、その分しっかり県や市民のため、観光客のためなど、遅れる分をしっかりと取り組んで欲しい、という意味合いでしょうか。

【福井市長】

工事や費用の面で課題があり、人的パワー等にも非常に課題がある中で、しっかりと積み上げがなされているか、節目節目でしっかりと見極めていかなければならないと思っています。

【中日新聞】

国会でLGBT法案が成立しましたが、福井市ではパートナーシップ制度など、性的少数者の方に配慮するような取り組みを今後行っていく方針でしょうか。

【福井市長】

福井県内で、福井市だけが取り組む形も考えられますが、他の市町とよく相談をし、足並みをそろえて取り組んでいきたいと思っています。ただ、国で法律を作るということですので、今後どうしていくか議論が必要だと思っています。

【中日新聞】

課題としてこれまで議論されていたと思うのですが、新たな局面に入るということでしょうか。

【福井市長】

従来から特に問題となっているような、市営住宅等への入所の条件について、どのように対応していくかというような課題と、新しく法的に権利として認めるという課題があるので、どのようにクリアにしていくか、少し整理をしていく必要があると思っています。

【福井テレビ】

市長選挙について、6月議会の中で何らかの進退について表明する方針はお変わりないでしょうか。

【福井市長】

そのように答えざるをえないです。

【福井テレビ】

方向性については、検討中ということでよろしいでしょうか。

【福井市長】

方向性についてはまだ検討中です。

【広報課長】

それでは他にご質問ないようですのでこれで第2部を終了させていただきます。